

平成 26 年 11 月 27 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代 表 者 名 代表取締役社長 高村 健太郎
(コード番号：7777)
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
電 話 番 号 03 (3511)3440

**株式会社リプロセルの細胞製品「ReproHepato™:ヒト iPS 細胞由来肝細胞」と
当社製品「PuraMatrix®」の培養製品キット化に向けた
包括研究開発の開始に関するお知らせ**

当社グループは研究試薬「PuraMatrix®」を、株式会社リプロセルが世界で初めて製品化し、販売・提供しているヒト iPS 細胞由来肝細胞「ReproHepato™」の推薦培養材として、培養製品キット化の採択に向けた同社との包括研究開発を開始いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループは、米国マサチューセッツ工科大学から独占実施権の許諾を受けている自己組織化ペプチド技術を用いて、3次元環境下での細胞培養を行える研究試薬として「PuraMatrix®」をグローバルエリアで販売しております。

一方で、「ReproHepato™」は創薬の初期物質探索における重要なステップである毒性・有効性を評価するために用いられております。本年に入り「PuraMatrix®」は、「ReproHepato™」の細胞培養材として基準プロトコルに採用されることとなりましたが、「PuraMatrix®」を用いて3次元培養を行うと、その他の細胞培養用基材を使用した時と比べ、「ReproHepato™」が薬剤にさらされた際の薬物代謝が格段に高まるため、評価の効率が高まることが期待されます。また、「PuraMatrix®」は前準備が不要なため実験期間を短縮できるというメリットも有しております。

今後も上記のような製品特性やメリットを活用し、この度の培養製品キット化に向けた包括研究開発を共同で進めてまいります。

なお、現段階においては、本件による本年度の業績予想への影響はありません。

以 上